



SDGs をテーマにした追手門学院高校 2 年生チーム 英語プレゼン全国大会で夢を語る

追手門学院中・高等学校(大阪府茨木市、校長：木内淳詞)の高校 2 年生チームが、今月 27 日に東京で開かれる英語プレゼンテーションコンテストの全国大会に出場します。

発表テーマは SDGs(持続可能な開発目標)の 17 の目標の一つである「貧困をなくそう」につながる「Food Homework (フードホームワーク)」。高校生たちは、全国 117 チームがエントリーした英語プレゼンテーション大会「Change Maker Awards (CMA)」の事前審査を勝ち抜き、20 チームが参加する全国大会へと挑みます。

高校生たちが発表する「Food Homework」は、SNS を活用して食料と教材を調達し、ドローンを使って必要な人たちに直接配送するプロジェクトです。

追手門学院高校が総合学習の時間に行っている課題解決学習の中で、「アフリカ・コンゴで貧困のため勉強ができず、それにより貧困のスパイラルから脱出できない子どもたちを救いたい!」との思いから生まれたものです。

高校生たちは「このプロジェクトが実現できれば、発展途上国の児童労働や先進諸国のフードロスも解決できるのではないかと大勢の人に知ってほしい」と意気込みを語っています。



Food Homework イメージ図

■ Change Maker Awards (CMA) とは

一般社団法人英語 4 技能・探求学習推進協会が主催する、中高校生のための全国規模のプレゼンテーションコンテストで、初めての開催。テーマは「私の夢中は誰かを動かせるか」。

従来の英語系スピーチコンテストとは異なり、プレゼンテーションの内容が 80%、英語力 20% で評価。

全国大会は 2019 年 1 月 27 日(日)に東京都千代田区の星陵会館において開かれる。

金賞 1 チーム、銀賞 2 チーム、銅賞 3 チームを選出し、総額 680 万円分の学習支援を行う。さらに GlobalLink 賞の選出を行い、選ばれたチームは 2019 年 7 月にシンガポールで開かれる世界規模のプレゼンテーションコンテスト・Global Link Singapore に出場することができる。



出場する高校生チームの生徒